



「ひとつ プラス」に取り組もう

3学期のスタートにあたり、子供たちと教職員に「ひとつ プラス」に取り組もうと伝えました。次の三つの思いや考えがその理由です。

◆チームJの絆を深め、本校ならではの取組をつなぎたい

4月からの合言葉「知恵と力を合わせるチーム J」。子供たちにも浸透し、学習や運動にチームで取り組もうとする意識も育ってきたようです。地域の講師に学びながら取り組む「ふるさと学習」、学校行事、子供が企画運営した新たな活動等、本校ならではの取組もチーム J の意識と共に次の年度につなぎたいと思います。そのためには、新たな発想でひとつ手を加えたり、もうひとつ別の視点から活動を見直したりすることが必要だと考えます。

◆城端っ子の自尊感情を高めたい

「自分たちの自慢は、『あいさつ、進んで活動、なかよし』の3つです。」と声に出して言い、それら自慢の質を上げようとして取り組んできた城端っ子。中心として活動してきた6年生は、人の役に立った、下級生に喜んでもらえたと自己有用感を感じ、自尊感情を高めたことでしょう。5年生はあいさつ運動を引き継いでいこうと考えています。ちょっとしたことを毎日続けることも「ひとつ プラス」。続けることで、自尊感情を高めてほしいです。

◆かけがえのないのちを守りたい

そもそも、生きていくだけで毎日が「ひとつ プラス」。昨日までとは違う何かプラスされていきます。降積雪に伴う危険から身を守るとともに、よりよい生活習慣づくりや感染症対策に努め、安全で健康な毎日を過ごしたいもの。元気な心と体でなければ、「ひとつ プラス」を実現させることはできません。

よいと思うことをプラスしていくのは大切ですが、多すぎるのも考えもの。敢えてしなくてもいいことや当分の間凍結しておくともよいことは、「ひき算」するのも肝要かと。このことも頭に置きながら、子供たちと共に過ごしていきたいと考えます。

城端っ子が充実した学校生活を送ることができるよう、本年もこれまで同様に家庭、地域の皆さまのお力添えをお願いします。
(犀川)

<令和5年2月の主な行事予定>

1日(水)	集団登校 中学校乗り入れ授業
3日(金)	半日入学
6日(月)	委員会活動
10日(金)	さわやかデー・学校集金 ベルマークの日
13日(月)	高学年弁当の日④(最終)
15日(水)	集団登校
17日(金)	学習参観・学年懇談会
28日(火)	つごもり大市 (4年生参加予定)

<令和5年3月の主な行事予定>

1日(水)	集団登校・地区児童会 集団下校
3日(金)	学校集金・卒業を祝う会
8日(水)	ひだまりクラブ(最終)
10日(金)	さわやかデー
14日(火)	卒業式予行
15日(水)	集団登校
17日(金)	卒業式
20日(月)	集団登校(1年生～5年生)
23日(木)	給食終了・集団下校
24日(金)	修了式
27日(月)	学年末休業開始



ぽかぽかコラム 4年生の取組より

4年生では、朝の会や帰りの会、済美の時間等に、学級の枠を超えて、学年全員で活動する時間を積極的にとっています。

2学期からは、係活動も学年で取り組んでいます。「隣の教室の黒板を水拭きしよう!」「隣の教室にもおたよりは届いているかな」「教室の整理整頓のルールを統一しよう」「委員会の取組を4年生でもやってみよう」…。55人みんなに目を向けて、よりよいチームになろうと工夫し、努力する姿が増えています。

4月からは高学年。「チームJ＝全校に意識を向けて、考えて行動ができる」ように、3学期も、55人が力を合わせて学校生活を送ります。

2月末には、「地域の方を笑顔に!」を目標に、つごもり大市に出店を予定しています。ご注目ください!



4年学年主任 荒井 鮎美

教育活動から

書初め大会では、ぴんと張り詰めた空気の中で集中して書いていました。一画一画丁寧に筆を運ぶ子供たちの姿から、練習の成果を発揮し、これまでで最高の字を書き上げようとする強い気持ちが伝わってきました。

低学年



中学年



高学年



城端小学校のすてきをつなぐ

1年生の道徳科の学習で「すてきなことば『あふたあ ゆう』』という教材を使い、学校生活を楽しく過ごすために大切なことを考えました。

休み時間に友達とブランコの取り合いをして、喧嘩をしている1年生がいました。すると、「『あふたあ ゆう』だよ」と6年生が教えてくれたのです。6年生になった主人公が、1年生の時に6年生から教えてもらったことを次の1年生に教えてあげるといってお話です。

城端小学校の1年生も「給食の配膳の仕方を教えてもらった」「タブレットの使い方に困っている時に優しく教えてくれた」「朝のあいさつ運動をしているのがかっこいい」などと、6年生との思い出をうれしそうに発表していました。

子供たちは「6年生から教えてもらったことやしてもらったことを、今度はぼくたちも続けていきたい」という心が芽生えてきたようです。これからも、思いやりのバトンをしっかりとって、城端小学校のすてきをつなげていきたいと思えます。

(道徳教育推進担当・島岡 見佳)